

【レーザー・スタンダード、レーザー・ラジアルとレーザー・4.7】 の最も一般的な規則 42 違反

これはジャッジとセーラーのためのガイドである

原則:

ジャッジはセーラーに対して疑わしきは罰せず、であるが、セーラーが規則 42 に違反していると確信した場合、規則を守っているセーラーを保護するために行動しなければならない。

規則 42 に影響のあるクラス規則: なし

クラス特有のテクニックと違反

これらのクラスは多くの同じ規則 42 の違反がある。レーザー・スタンダードのセーラーは、艇よりも重いので、彼らの余分な筋肉を使って身体を動かすことで艇を操ることができる。

ほとんどすべての男子は積極的に行動するので、ジャッジにとっての問題は他のすべての潜在的な違反に気を取られることなく、個々のセーラーが何をしているか分析するのに十分な時間を費やすことである。

レーザー・ラジアルとレーザー・4.7 のセーラーは艇よりも軽いので、多くのケースで彼らの動きはあまりインパクトがない。少数の積極的なセーラーは、フリートの中の大多数よりかなり目立つ。

スタート

1. 1 回のロールと 1 回のボディー・パンプ

スタート時、1 回のロールまたは 1 回のボディー・パンプで艇を推進してはならない。

1 回のロールは、ロールの完了時にパドルひとかきの効力を持つ違反となるかもしれない強いボディー・パンプと同時に進行されることがよくある。

許される行動

- パドルひとかきの効力を持たない 1 回のロール、または 1 回のボディー・パンプ

禁止される行動

- パドルひとかきの効力を持つ、艇を推進する 1 回のロール、または 1 回のボディー・パンプ - **基本4**
- 艇を繰り返しローリングさせること - **42.2b(1)**

証拠の収集

- セーラーが艇のロールを引き起こしているか？
- 1 回のロール、または 1 回のボディー・パンプは、パドルひとかきの効力を持っているか？
- ローリングは(複数回)繰り返されているか？

2. スカリング

一般的にセーラーは、クローズホールドより風上からクローズホールドのコースにスカルする。レーザーでのスカリングは、軽風の場合を除き、レーザーのラダーでの穏やかな動きは、ほとんど効果がないので強くなる傾向がある。

許される行動

- 艇を推進させない、または後進させない穏やかなセンターラインを越えるようなラダーの動き
- たとえ力強くても、艇がクローズホールドのコースより風上であり、明らかにクローズホールドのコースへ方向転換している場合のスカリング - **42.3(d)、スカル1**
- 減速のために舵を繰り返し動かすこと - **42.3(e)**

禁止される行動

- 艇が直ちに風位に立つのを止めるため、または他艇の風下に滑り込むための、クローズホールドのコースより風下でのスカリング
- 左右両方向への力強いスカリング - スカル2
- カニ歩き。ただしセールを逆に張ることによる操舵を打ち消すに十分な力強いラダーの動きに限る - スカル3

証拠の収集

- ティラーの動きは力強いのか？
- 艇を前進させているか、後進しないようにしているか？
- 艇はクローズホールドのコースより風上であり、明らかにクローズホールドのコースに方向を変えているか？
- 前のスカルを打ち消すようなスカリングか？
- セールを逆に張っていて、スカリングで艇のコースが変わらないようにしているか？

アップウインド

1. トルキング

レーザーでは風上に向うビートでは規則 42 の違反は、あまり頻繁には起きない。軽風のときに起こる可能性が高く、レーザー・スタンダードのクラスではよく見られるが、セーラーは艇を増速させるために彼らの余分の筋肉を使いたがる。

許される行動

- 波のパターンに合わせた、艇の前後トリムを変えるためのトルキング - ウーチ1

禁止される行動

- リーチのフリックを引き起こす、過度なトルキング - パンプ 6
- 平水面でのトルキング - ウーチ2

証拠の収集

- 波があるか？
- セーラーの身体の動きは波に合っているか？
- リーチのフリックはセーラーの身体の動きで起きているか？
- フリックとセーラーの身体の動きは関連付けられるか？
- フリックは繰り返されているか？
- リーチのフリックは波により起きているか？
- 他艇と比較してどのように見えるのか？

2. ロール・タック

許される行動

- タックの間の艇の操舵を容易にするためにローリングを大きくして、タックを完了した時にタック直前の操船と同じスピードになるような身体の動き - ロック 8
- タックを完了した時に、マストが垂直を越えて風上に動くこと - ロック9
- 風または戦術上の駆け引きに関係する繰り返しのタック

禁止された行動

- 艇のスピードがタック完了直後に増加するように、タックの間に大きなローリングをさせる身体の動き
- タック完了後、艇を適切な位置にするのを遅らせて、シート・パンプしながら艇をフラットにする場合、1回のシート・パンプでも違反になる。 - 基本4

- 多くのレーザー・スタンダード: パドルひとかきの効力を持つ違反となるような強いボディー・パンプにより、新しいクロスホールドのコースへのタック完了後に艇を適切な位置にするのを遅らせる。 - **基本6**
- 多くのレーザー・ラジアルやレーザー4.7: 微風下で、艇はクロスホールドのコースに到達した後、艇をフラットにする前にさらに風下にロールをして、艇が適切な位置になるのを遅らせる。この行動が繰り返されるとその前のタックは 42.2(b)(1)に違反している。
- 風または戦術上の駆け引きと無関係の繰り返しのタック - **42.2(e)**

証拠の収集

- セーラーはタックの後、艇を適切な位置になるのを遅らせたか？
- それはシートまたはボディー・パンプによるものか？
- それはパドルひとかきの効力を持っていたか？
- 各々のタックは艇を増速させたか？
- セーラーの身体の動きは艇を増速させたか？
- タック後の増速に続き、突然明らかに減速したか？
- タックは風または戦術上の駆け引きと判断できるか？

ダウンウィンド

1. パンピング

許される行動

- その時の状況に合わせて、艇をトリムするためのセールの引き込み - **パンプ2**
- サーフィングまたはプレーニングを開始するために一波またはガスト(風の一吹き)に 1 回、セールをパンプすること。
ただし、艇がサーフィングと認められるためには、急に加速しながら波の風下側を下るものでなければならない。
- **42.3(c)**

禁止される行動

- リーチのフリックを繰り返し起こすボディー・パンプ。 - **パンプ6**
- セールをファンニングさせるための引き込み - **パンプ1**
- サーフィング中またはプレーニング中のパンピング

証拠の収集

- サーフィングまたはプレーニングできる状況か？
- 一波またはガスト(風の一吹き)に 1 回のパンプはサーフィングまたはプレーニングを開始しているか？
- 艇は、サーフィング中またはプレーニング中にパンプしているか？
- 引き込みと緩めは風の振れ、ガスト(風の一吹き)、または波に対応しているか？
- 繰り返しの引き込みと緩めで、セールをファンニングしているか？
- リーチのフリックと身体の動きは関連付けられるか？

2. ロックキング

許される行動

- 風上に向けるのを促進するために風下側にヒールさせることと、ベアを促進するために風上側にヒールさせることが、波のパターンに合っている - **ロック6**
- 艇の復元性が減少した際に、乗員が固定した位置にいたり、セールまたはセンターボードを固定したセットにすること - **ロック4**

禁止される行動

- 波のパターンに連動しない、艇の繰り返しのローリング - ロック7
- 小さなコース変更につき、操舵を容易にするために大きく身体を動かして、結果的にロッキングを誘導する繰り返しのローリング - ロック7
- 波がないなど、操舵を容易にする必要のない状況でコース変更をする場合の艇のロール
- 特に風上にロールをさせた後、そのロールが完了する前にそれに逆らって身体を内側に動かすことで、繰り返しのローリングが続いて起こるような1回の身体の動き - ロック5

証拠の収集

- セーラーは、艇のロールを引き起こしているか？
- ローリングは艇の操舵を助けているか？
- ローリングで艇の操舵を容易にする状況であるか？
- 艇のローリングの量は艇の回転量とあっているか？
- ローリングは波のパターンと連動しているか？

3. ロール・ジャイブ

軽風下でセーラーは時々、ゾーンに到達するときや他艇のカバーを解こうとして、繰り返しジャイブすることがある。

許される行動

- 風の振れまたは戦術上の駆け引きに関係する繰り返しのジャイブ
- ジャイブの後、直前の操船より艇が増速をしないような繰り返しのジャイブ - ロック8

禁止される行動

- 風の振れまたは戦術上の駆け引きに無関係な繰り返しのジャイブ - 42.2(e)
- ジャイブの後、直前の操船より艇が増速するような繰り返しのジャイブ

証拠の収集

- 各々のタックは艇を増速させたか？
- セーラーの身体の動きは艇を増速させたか？
- ジャイブ後の増速につき、突然明らかに減速したか？
- ジャイブは風または戦術上の駆け引きと判断できるか？

助言

1. 質問しよう。
2. もしあなたがテクニックについて自信がない場合には、他のセーラーもその答えを活用できるように、紙に書いて説明をお願いしよう。
3. イエローフラッグ・ペナルティーを受けた場合、あなたがしてよいことと、してはいけないことの説明を、ジャッジに質問しよう。
4. より重要な大会では、セーラーに対するジャッジの比率が高い。よって、実際起こるとき、あなたの帆走テクニックはしっかり見られていることを覚えておこう。

この文章は、ガイドンスとしてのみ位置づけています。公式文章は、「ISAF の解釈」です。